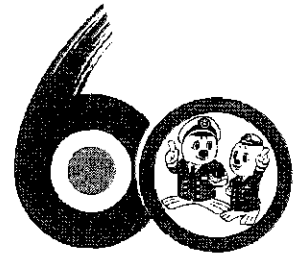


問合せ先:

海上保安庁警備救難部救難課

専門官(国際救難)大河内

電話: 3591-6361 内線 5903 (直通)3581-2828



海上保安庁創設60周年記念

平成 20 年 11 月 12 日

海上保安庁

## Save more Lives at Sea!

- 捜索救助に関する国際ワークショップの開催 -

海上保安庁は、海洋政策研究財団と共催で「捜索救助に関する国際ワークショップ」を開催します。

本ワークショップは、「Save more Lives at Sea! (ひとりでも多くの遭難者を救うために何ができるか?)」をメインテーマとして、各国 RCC の情報を共有し、SAR に関する RCC の機能強化について討議することにより、RCC 間の連携・協力の促進・強化に資することを目指します。また、本ワークショップを通じて、SAR 専門家間の人的ネットワークの構築を図ることとしています。

今年のワークショップは、3 カ年計画のうちの 3 年目(最終回)であり、国際海事機関(IMO)事務局や国際海事大学(WMU)、米国沿岸警備隊、フィリピン沿岸警備隊など、2 つの国際機関及び 11 の政府機関が参加する予定です。

SAR : Search and Rescue 捜索救助

RCC : Rescue Co-ordination Center 救助調整本部

### 1 日程

平成 20 年 11 月 18 日(火) から 11 月 20 日(木) までの間

### 2 開催場所

日本財団ビル 2 階 大会議室 B

所在地: 東京都港区赤坂 1 丁目 2 番 2 号

電話 : 03-6229-5111

### 3 出席者

SAR 専門家 (2 国際機関、11 政府機関)

国際海事機関、世界海事大学、米国沿岸警備隊、ロシア海難救助調整庁、韓国海洋警察庁、中国海事局、香港海事局、シンガポール海事港湾局、インドネシア海運総局、マレーシア海上法令執行庁、フィリピン沿岸警備隊、ベトナム国家捜索救助委員会、海上保安庁

#### 4 予定

##### 11月18日(火)

- ・ オープニング
- ・ 挨拶：議長（海上保安庁警備救難部救難課長）、海上保安庁総務部参事官（警備救難業務担当）、海洋政策研究財団代表
- ・ セッション1：各国のRCCに関する情報共有

##### 11月19日(水)

- ・ セッション2：討議「人材育成を通じたRCCの機能強化」
- ・ セッション3：討議「言葉の違いを乗り越えたRCCの機能強化」
- ・ 議長サマリー討議・採決
- ・ クロージング

##### 11月20日(木)

- ・ 横浜海上防災基地及び訓練等の視察

#### 5 その他

(1) 本事業は、海洋政策研究財団の平成20年度海外交流基金により実施されるものです。

(2) 18日の会議において、午前9時30分からオープニングと議長等挨拶のカメラ取材(冒頭撮り)が可能です。取材を希望される方は、11月17日(月)午後5時までに下記連絡先までご連絡下さい。

海上保安庁総務部政策評価・広報室報道係

電話：3591-9780（直通）

(3) これまでのテーマ

①平成18年

「SAR技術に関するワークショップ」

②平成19年

「域内SAR協力促進に係るワークショップ」